



## はぐくみ無痛分娩マニュアル

目標 | 患者さんが満足する、  
安全な無痛分娩を提供する

### 麻酔前の準備

#### 1. 患者情報の確認

妊娠経過の確認、最終飲食、無痛同意書の確認。  
無痛分娩開始時チェックリストを作成。

#### 2. 患者さんへ挨拶

この時点で、バースプランを確認するとともに、  
無痛分娩について心配や疑問に思う点はないか確認。  
おおまかな流れを説明しておく。

(その時の状況に応じて手技を急ぐ必要がある場合は準備を優先)

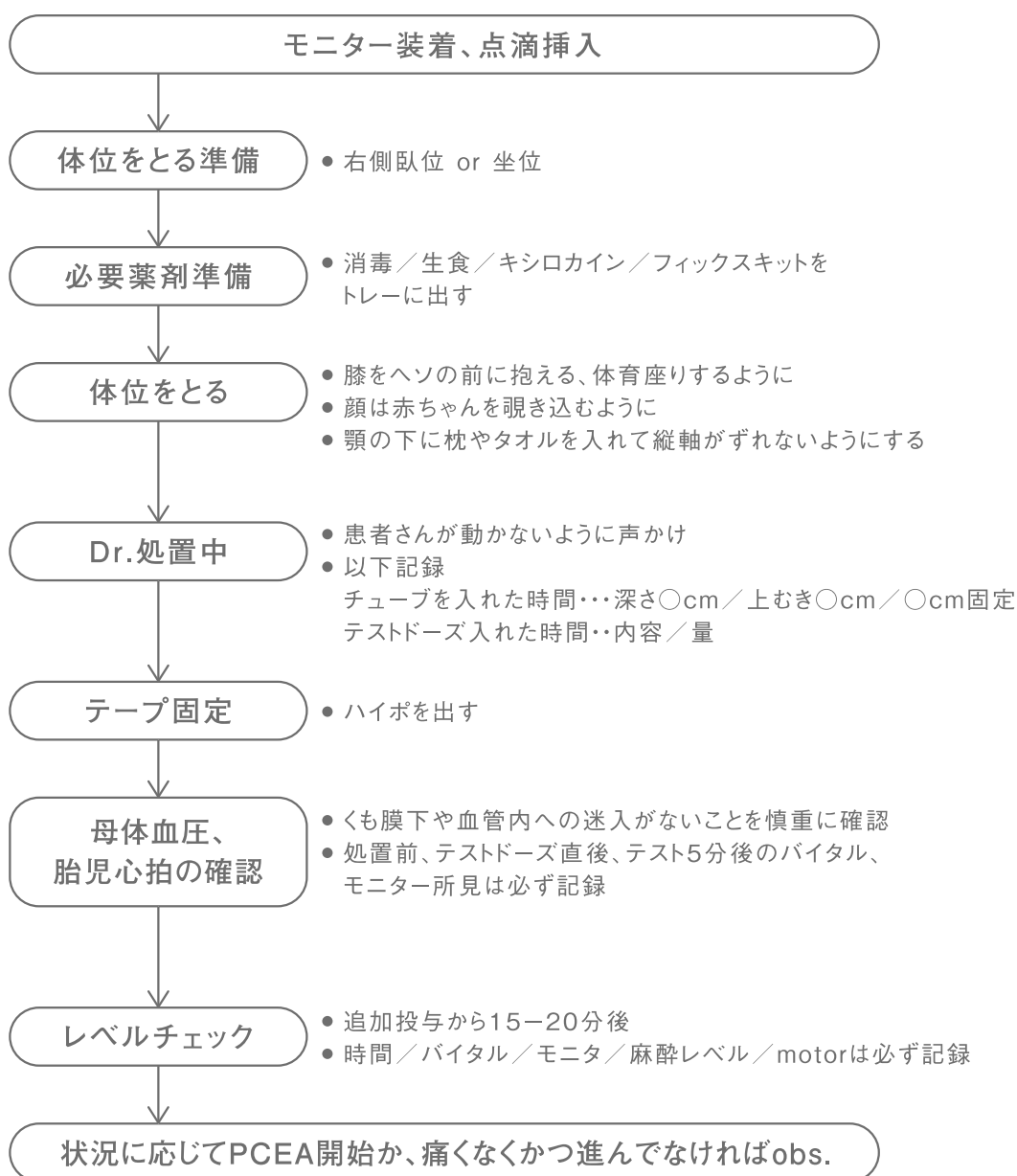


## 無痛分娩開始時

### 1. 麻酔準備

EPIキット／キシロカイン／生食、消毒／フィックスキット／手袋／PCEAポンプ／プラスチック容器、／延長チューブ  
緊急カートを確認

### 2. 麻酔手順



## トラブルシューティング

## 1. 疼痛コントロール不良時

- まずは、痛みの程度、性質、部位を確認する。
- ボタンを上手に押せているか確認
- 麻酔域をチェック  
麻酔域が低ければ容量負荷  
(0.1%アナペインかPCEA追加ボース投与1-2回)  
麻酔深度が低ければ、より強い麻酔薬  
(メピバカイン5ml)(DR指示で+F1ml)

## 2. 片効き

- 痛みの評価、麻酔域のチェック、  
回旋異常(疼痛が強くなる)などのチェック
- まずは、容量負荷(0.1%アナペインかPCEA 5mlか10ml)
- 麻酔域に明らかな左右差があれば1cm引き抜き、  
麻酔薬投与→15~20分で評価
- それでもだめなら、再穿刺

## 3. 再穿刺について

- レスキューを2回以上行っても、鎮痛効果不良であれば、  
再穿刺を考慮。
- 分娩直前で有り、本人が納得していればそのままでも可能

